

長浜市病院事業改革プラン評価委員会（平成 28 年度 第 3 回）会議録

開催日時 平成 29 年 2 月 16 日(木) 14:00～15:30

開催場所 市立長浜病院 2 階 講堂

出席委員 大谷委員長、橋本副委員長、布施委員、瀬戸委員、今田委員、市川委員

事務局 野田病院事業管理者

(市立長浜病院)

神田院長、村中副院長、小林副院長、嶋田副院長、小川事務局長、松田看護局長、土川総括、福永理事、藤田室長、嶋医事課長、田中経営企画課長、佐野参事、伊藤参事、久保田副参事、伊吹副参事、村上主幹、川村主幹

(長浜市立湖北病院)

田中副院長、西川事務局長兼管理課長、中川医事課長、山根副参事、杉森主幹、榎田主査、柴田主査

1. 開会

2. 大谷委員長あいさつ

3. 野田病院事業管理者あいさつ

議事

(1)長浜市病院事業 中期経営計画（素案）のパブリックコメントの実施結果について

【市立長浜病院】 ～長浜病院事務局から説明～

委員 病床の利用率は、休床となっている病床も含めて計算するということですか。

事務局 はい、そのとおりです。現在、病床数を検討しています。

今後、当地域の人口動態などから慢性期病床等の必要病床数を調べたうえで、判断いたします。

委員 今回の質問者の方に説明するのであれば、現員スタッフ数で収益性の高い効率的な病院の組織編成が困難であることを説明するべきではないかと思います。

事務局 検討いたします。

委員 質問にある税金投入の根拠、また税金投入による回収について、委員としても少し不安である。

(2)長浜市病院事業 中期経営計画（素案）の承認について

【市立長浜病院】 ～長浜病院事務局から説明～

事務局 リウマチセンターについては、当初 1 月予定でしたが、正式な開設は、4 月からです。

委員 開設にあたり医師は増えているのですか。

事務局 はい、増えています。

委員 外来診療は開始されていますか。

事務局 はい、始まっています。

委員 本格的な稼働が、4 月からということですか。

事務局 準備がありますので、正式には4月1日からです。

委員 はい、分かりました。

収支計画についてですが、建物の修繕は、修繕費でなく資本的収支に計上されるということですか。

事務局 はい、そうでございます。

委員 フローチャート（キャッシュフロー）は今回、作成されていますか。

事務局 現時点では、作成できておりません。

事務局 資料にはございませんが、試算はしております。

内部留保資金は、平成30年度に底の額になりますが、平成31年度からは純損益の黒字により、回復するという見込みで試算しております。

委員 はい、分かりました。

外壁について、修繕費ではなく資本的支出になるのですか。

事務局 はい、機能回復のみであれば修繕費ですが、加えて価値が上がる工事については、建設改良としております。

委員 慢性期機能についてですが、当地域の患者さんが県南部の他市に流出している要因としては、病床の数の問題ですか、医師、看護師等の人材が不足によるものですか。

事務局 当院に関しては、慢性期を担当する医師が不足していることが要因となっています。

委員 人材の問題が解消されれば、診れるということですか。

事務局 施設の数が足りないと思います。

委員 県南部には施設が多くあるということですか。

事務局 はい、そうです。

慢性期医療について、国の方針である地域包括ケアシステムの構築といった視点で、住民の方や地域の診療所の医師の意見を踏まえて検討しなければならないと思いますが、病床稼働率も考慮して、ダウンサイジングも止む無しかと考えてはいます。

委員 湖北で施設ができて、収益性は上がらないということですか。

事務局 次回の診療報酬改定では、さらに厳しくなると聞いていますが、読めないところがあります。

ただし、収益性については、厳しいかと思われま。

委員 ただ、慢性期機能について、今の状況のままでいいとお考えですか。

事務局 国については、医療圏の病床機能について、整備するよう方針が出されていますが、県においては、医療圏の病床機能について消極的であると感じるところです。

しかしながら、当地域における病床機能について検討をしていかなければならない状況であると認識しております。

事務局 2018年の診療報酬の改正で医療型の療養病棟の入院基本料等が改正されることから、地域全体で慢性期機能について検討が必要であると思われま。

委員 計画どおりの医師確保ができなければ、医業収入が上がらず、収支として厳しいと思いますが、いかがですか。

事務局 大変だとは認識しております。しかしながら、全国的には医師の需給が過剰となっている状況で、現に湖北病院においては、少しずつ医師確保ができていますところ。医業収入を確保するためには、目標医師数の確保が必要と考えていますので尽力いたします。

- 委員 一般会計からの繰入れについては、いかがですか。
- 委員 市の財政も厳しい状況ではありますが、繰入基準どおりに支出をしまして、健康福祉部においても、地域の医療を確保するため尽力いたします。
- 委員 やはり、病院だけではどうしようもない問題であると思います。
- 委員 在宅医療の必要な人数や、どのようなニーズがあるのか基礎的資料が必要だと思います。医療圏を周産期や精神科と同様に広域で考えていくべきかを検討していかねければなりません。また、平成30年度からの保健医療計画を平成29年度に策定することになっていますので、その中でも検討していかねばならないかと思います。
- 委員 慢性期機能について、湖北においても介護施設が多くなってきているが、介護施設における医療行為が行えない限り、慢性期の問題は解消できないと思いますので、行政としても検討してもらいたい。
- 委員 在宅療養等については、病院だけの問題でないと認識しています。
- 事務局 今までは、医療のことについては病院任せというのが市行政のスタンスでありましたが、2025年に向けた医療と介護という視野で考えていかねばならなくなった場合は、市行政が中心となって、長浜赤十字病院も含めて検討していかねばならないと考えています。
- 委員 今後は、そのような形にしていくべきだと思います。
- 委員 高齢化率が高くなっている中で、今後さらに医療と介護の連携が必要となってくると思います。
- 委員 病院の待ち時間は、いかがですか。
- 委員 はい、改善してきていると思います。
- 委員 長浜市病院事業中期経営計画（素案）について、これまで3回審議をしまいいりました。これで評価委員として承認をしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。
- 委員 はい。
- 委員 はい。これで承認されましたので、ありがとうございます。
それでは、当評価委員会としまして、新公立病院改革ガイドラインによる新改革プランとして、この長浜市病院事業 中期経営計画を承認させていただきます。

(3) 市立長浜病院患者総合支援センターの運用開始について

【市立長浜病院】 ～長浜病院地域医療事業部から説明～

- 委員 現在も工事中ですか。
- 事務局 はい、現在も一部改修工事を行っています。

(4) 市立長浜病院の大規模病棟改修について

【市立長浜病院】 ～長浜病院 病院機能強化推進室から説明～

- 委員 東病棟の7階をすべて空けて、その病床を他の階に移動させることになりましたが、すべてベッドは入るんですか。
- 事務局 今の稼働率ですと、十分足りる状況です。
- 委員 地域包括病棟を6階に移動をさせて、こちらで運用させるんですか。
- 事務局 はい、6階に移動して、48床で運用します。
- 委員 工事はいつから始まる予定ですか。また、進捗はいかがですか。
- 事務局 調査が終わりまして、現在、入札の準備中です。工事開始は、来年の夏ごろを予定

しております。

委員 その間は、空けた状態となることになるのですか。

事務局 はい、その間に6階と7階の間を工事いたします。

委員 これは、床または天井どちらから工事をする予定ですか。

事務局 通常は、天井から行います。6階の天井を外して、配管の取り換え工事とともに、天井の張り替えも行います。合わせて、空調も20年経って劣化が激しいので、こちらに変えていきます。基本的には、機能回復として行っています。

委員 これが終わると次は階が下がっていくのですか。

事務局 はい、次は5階を空けて、5階と6階の間を工事します。

委員 その間は、7階が使用できるのですか。

事務局 はい、使用できます。1クール2〜3ヶ月を予定しています。

委員 東側の次は、西側も行う予定ですか。

事務局 はい、その予定です。

委員 すべての工事期間は、どのようになっていますか。

事務局 平成32年度完了予定で、およそ2年くらいです。

委員 工事の音は大丈夫ですか。

事務局 多少、音がするとは思いますが、上と下の階を空けて工事を行いますので、騒音を最小限に抑えられると思います。

委員 工事の費用の内訳を教えてください。

事務局 平成29年度の建設改良費は、11億9,200万となっていますが、そのうちの7億円程度が、外壁、エレベータ、一部の内装工事で、残りの1億円が病棟改修に充てられます。

平成30年度の33億円のうち10億円程度が病棟改修の費用に充てられます。

委員 残りの23億は、何に必要ですか。割合として大きいものは何ですか。

事務局 電子カルテの更新が必要となっておりますので、その費用や医療機器更新費用となっております。

委員 平成31年度の20億については、どのようになっていますか。

事務局 病棟改修に7億円程度を予定しています。

事務局 残りにつきましては、現段階では決まっておりませんが、医療機器の更新費用として計上しています。

委員 改修工事が総額25億円となる予定ですか。

事務局 はい、そうです。

事務局 大きな額ですが、これまでの考え方は、古くなれば建て替えるというものでしたが、今は、悪くなる前に修理して、長期間使用するというファシリティマネジメントの考え方により行うもので、他の施設に比べて少し早い段階で、修繕費がかかっていると思います。

病院のあるべき考え方であると思っていますので、ご理解をお願いします。

委員 今、経営的に厳しい中ではあると思われるのですが、その点については、いかがですか。

事務局 たしかに、おっしゃるとおり、厳しい経営状況です。

しかしながら、病院というところは、そのときの最高の医療等を提供する必要があるので、一定のサイクルで更新、改修等が必要であると考えています。

委員 外壁の工事はどうなっていますか。
事務局 GWくらいから着工しまして、年内の完了を予定しています。
委員 悪くなった外壁の一部だけ改修するという工事ということですが、どのくらいですか。
事務局 外壁全体の5%程度です。
委員 決算状況は厳しいですが、皆さんの頑張りに期待しています。

(5)長浜市立湖北病院の基本構想（マスタープラン）の検討について

【長浜市立湖北病院】～湖北病院事務局から説明～

委員 もう市民・有識者の意見聴取は始まっているのですか。
事務局 まだです。今後、どのような方に意見をお伺いするかなど院内検討会議の場で協議をしていく予定です。
委員 今後、人選も含めて進めていこうとするところですね。
建物が35年経過して、ずいぶん古くなってきているのですね。
事務局 新館は平成18年に建てており、まだ、新しいのですが、本館が35年経過しています。
委員 今は本館、新館の両方の病棟を使っているのですか。
事務局 はい、両方とも使用しております。
委員 今は、何か改修工事とかはされていますか。例えば、配管工事など。
事務局 はい、配管については、老朽化が著しい状況ですが、部分的な修繕を行って対応しています。今年度については、屋上の雨漏りがひどく、全面的に屋上の工事を行ったところです。
委員 それは、すでに終えた工事ですか。
事務局 はい、完了しております。
委員 こちらも経営状況が厳しいところですが、建て替えも視野に入っているのでしょうか。
事務局 専門的に見ていただきましたが、建物の老朽化などから、建て替えしかないと思われます。一昨年くらい前から院内でプロジェクトチームを立ち上げて検討してきましたが、その内容を現実的にマスタープランとして策定をしていこうとしている段階です。
委員 方向性など、先ほどの地域構想と関係してくるわけですね。
事務局 はい、そうです。整合性をとりながら、形にしていくつもりです。
委員 そうですね。今後、市民・有識者の方の意見を聴きながら進めてください。
委員 中期経営計画に医療需要の変化など記載されていますが、市としても人口動態を見ながら、市北部地域をどのようにしていくべきか検討していますので、連携して、情報共有しながら進めていければと思いますので、よろしくお願いします。
事務局 よろしく申し上げます。
委員 医師等の人員確保が前提に中期経営計画が策定されていますが、この間に、様々な変化があると思いますが、計画の見直し等は必要ないのですか。
委員 概ね年2回評価委員会が開催されますので、そのときに見直しについても議論されると思います。
今年度は、評価委員会3回開催しましたが、こんなこともあるんですね。

事務局　　今回は、中期経営計画の策定ということがありましたので、3回お集まりいただくことになりました。

委　員　　本日の議題につきましては、以上です。

今後の日程について

～事務局からの説明～

15:30 閉会